

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表:令和 5年 12月 28日

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	○		個別訓練、集団活動を分けて活動を行 うことができる。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準に則り配置されて いる。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか		○	一部されていない面もある。	現在は車いすを利用する利用 者がいないが、今後は玄関に スロープの設置を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	○		定期的な会議、職員同士での相談等を含 め、毎日話し合いと改善案の起案が行 われている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○		定期的にアンケート調査を行い、内容を 職員が周知し、改善案を実行することが できている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	○		関係機関に事業所のサービスに関する 意見を都度、聴取している。	
適切な支 援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○		外部研修を中心に研修に参加してい る。 施設内研修も実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイ サービス計画を作成しているか	○		標準化されたアセスメントを全児童に行 い、客観的な視点で本人の分析を行っ ている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用し ているか	○		S-M社会生活能力検査を中心に実施しなが ら、適切なアセスメントを行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	○		保育士・児童指導員・PT・OT・STが話し 合いを踏まえて立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	○		季節のイベントや行事を取り入れている。 対象児童によって活動のプログラムを変更 している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇であれば、休暇期間を通した 計画を児童に立案してもらい、実行して いる。※夏祭りの実施など	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成しているか	○		児童に必要性の高いアプローチ(個別・ 集団)を選択した内容が計画案に落とし 込まれている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	○		毎朝、朝礼で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	○		全体でのフィードバックがある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別記録を記入している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いるか	○		毎月末に書類作成し、振り替える機会 がある。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		本人・保護者のニーズに則った基本活動を複数組み合わせている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		もっとも精通したもの、および、子どもの担当者が会議に出席する人に様子を伝えている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・連絡帳やLINE、電話で対応している。 ・時間割を見て、何時に終わるのか確認をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		移行支援シートの共有・検査結果の共有・電話連絡・書類による情報提供を相互に行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービス事業所等へ移行したケースはまだない。	今後、障害福祉サービス事業所等に移行する場合は情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携を行っているが、研修や助言を受ける機会が乏しい。	積極的に研修に参加し、研修を受けたスタッフは伝達講習などをしっかりと行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		児童クラブを利用している児童を除くと、事業所を利用している児童以外との交流はほとんどない。	障害のない子どもと活動できる機会をも受けられるよう、地域向けのイベントの開催などを検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		基幹相談支援センターの開催する会議には参加している。	基幹相談支援センターからの案内を頂き、より積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時・連絡帳・LINE・電話などで利用ごとに様子を報告・共通理解を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の希望・了承を得て、ペアレント・トレーニングを行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書・利用契約書を基に必ず説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談や希望があった際、電話連絡・LINEや事業所内相談の場面を設定して助言と支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者同士で障害特性などを加味しながら、習い事のオススメなどを共有し合っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に関しては、申し入れがあった時点で改善案を提案し、ご理解を頂けたうえで改善案に則り運営改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報等はないが、連絡帳やLINEでやり取りを行っている。大型のイベントに関しては事前告知を行っています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		カルテ等はその日のうちに決まった場所に片づけるようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		検査結果などから得られた発達年齢に応じ、本人の主訴などを汲み取ったり・保護者の理解がなされているか、保護者本人の理解度を加味し、情報の伝え方を変えている。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所内でイベントを開催し、利用契約している児童にのみ行事の案内を出している。	コロナ禍の情勢を見て、事業展開していきまます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルがあることは保護者に伝えている。マニュアルを職員の分かりやすい所において周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	動画研修を中心に実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	やむを得ない場合の身体拘束については例を交えて事前に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書はないが、保護者にアレルギーの確認をしている。	診断書を持っている方に関しては、その都度コピーを頂く。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハットは各職員が提出しており、共有している。	

公表:令和 5年 12月 28日

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個別訓練、集団活動を分けて活動を行うことができる。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準に則り配置されている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		本人にとって視覚的に分かりやすい構造化などが行われている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃を行っている。 児童が過ごしやすいようにケースに合わせてパーテーションなども使用している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的な会議、職員同士での相談等を含め、毎日話し合いと改善案の起案が行われている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的にアンケート調査を行い、内容を職員が周知し、改善案を実行することができる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページを使用して自己評価や改善案を公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		関係機関に事業所のサービスに関する意見を都度、聴取している。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修を中心に研修に参加している。 施設内研修も実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		標準化されたアセスメントを全児童に行い、客観的な視点で本人の分析を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		S-M社会生活能力検査、KIDSなどを中心に実施しながら、適切なアセスメントを行っている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに基づいた児童発達支援計画を立案、作成している。また、専門職(OT・ST)から毎回意見を伺っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々の連絡を保護者と行い、活動内容と計画との関連性を伝えながら、職員間でもフィードバックしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育士・児童指導員・PT・OT・STが話し合いを踏まえて立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節のイベントや行事を取り入れている。 対象児童によって活動のプログラムを変更している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童に必要性の高いアプローチ(個別・集団)を選択した内容が計画案に落とし込まれている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝、朝礼で当日の活動内容や役割分担を確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		全体でフィードバックを行い、活動内容や目的の達成度などを振り返っている。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別記録を記入している。 また、定期的に同じ検査を実施し、前後評価に努めている。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎月末に書類作成し、振り替える機会がある。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		もっとも精通したもの、および、子どもの担当者が会議に出席する人に様子を伝えている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターから直接の相談に乗っている。また、発達検査を実施する機関と分担して検査を実施している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを提出し、関係機関との相互理解を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを提出し、関係機関との相互理解を図っている。 また、学校側の主催会議に出席し、連携を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		市で開催される、他の事業所が講師を務める研修に定期的に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	スタッフが保育所や認定こども園などに訪問し、交流の機会を把握しているが、活動の機会はあまりない。	地域の児童と関りが持てるようなイベントなどを計画していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		基幹相談支援センターの開催する会議には参加している。	自立支援協議会、子ども部会などへの参加を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時・連絡帳・LINE・電話などで利用ごとに様子を報告・共通理解を行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者の希望・了承を得て、ペアレント・トレーニングを行っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書・利用契約書を基に必ず説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援計画書にガイドラインの項目を記載し、計画の同意を実施前に得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談や希望があった際、電話連絡・LINEや事業所内相談の場面を設定して助言と支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士で習い事をお勧めし合うコミュニティがあったりするが、父母の会は開催していない。	保護者会などが開催できるように体制づくりをおこなっていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に関しては、申し入れがあった時点で改善案を提案し、ご理解を頂けたうえで改善案に則り運営改善に努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報等はないが、連絡帳やLINEでやり取りを行っている。大型のイベントに関しては事前告知を行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		カルテ等はその日のうちに決まった場所に片づけるようにしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		検査結果などから得られた発達年齢に応じ、本人の主訴などを汲み取ったり・保護者の理解がなされているか、保護者本人の理解度を加味し、情報の伝え方を変えている。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域に開かれた事業運営は現状あまり行うことが出来ていない。	地域に開かれた事業運営として、参加制限のないイベントなどを開催していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	マニュアルがあることは保護者に伝えられている。マニュアルを職員の分かりやすい所において周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	定期的に避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○	服薬の状況やかかりつけ医の確認、その他基礎疾患や既往歴を確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書はないが、保護者にアレルギーの確認をしている。	診断書を持っている方に関しては、その都度コピーを頂く。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハットは各職員が提出しており、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	動画研修を中心に実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	やむを得ない場合の身体拘束については例を交えて事前に説明を行っている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 28日

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

保護者等数(児童数)11名 回収数 8名 割合 73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	3	事業所の空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	3	0	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	0	0	0		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	0		
	6	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	4		
関係機関や保護者との連携	7	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	0	0	1		
	9	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	1		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	2	6		
	11	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	3		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2	0	2		
14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	1	0	1			
緊急時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	0	0	4		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	0	5		
利用者の満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 28日

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

保護者等数(児童数)49名 回収数 35名 割合 71%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	2	0	1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	1	0	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	2	0	10		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	3		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	33	1	0	1		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	1	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	1	0	0		
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	34	1	0	0		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	2	0	17		
関係機関や保護者との連携	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	35	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	34	1	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	26	3	1	5		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	3	0	1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	3	0	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	13	16		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	2	0	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	2	0	0		
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	1	8	行事や活動内容を事前に知りたい。	活動内容は事前にLINEでの告知やその他のお知らせ方法などを検討してまいります。	

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	1	0	1	壁に顔写真が貼ってあり、丸見えだったと聞き不安になった。	事業所外から見えないように対策を講じてまいります。
緊急時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11	3	3	18		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2	1	24		
利用者の満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32	3	0	0		
	23	事業所の支援に満足しているか	34	1	0	0		